



自作の望遠鏡で 七夕の月と土星を見よう!

ガリレオが世界で初めて、直径わずか4cmの望遠鏡で天体観測をしてから400年がたちます。この観測から天文学は飛躍的に発展しました。自分だけのステキな望遠鏡を作って、伝統的な七夕(今年は8月20日)の月の輝く夜に美しい月や土星を観察しませんか?



2015年 **7月25日 (土)** 18:00~20:30
および **8月20日 (木)** 19:00~20:30

会場: 大分大学・旦野原キャンパス(教育福祉科学部 200号教室)
予定: 7/25は望遠鏡工作と天体観察, 8/20は3D宇宙体験と天体観察

(8/20のみの参加もできます)

対象: 小学生4年生以上のこどもとその保護者 30組
参加費: 無料
申込先: 下記の大分大学・社会連携推進課まで

★こどもだけの参加はできません。
★先着順になりますので、お申し込みはお早めに。
★7/25に持ってくるもの

- はさみ、セロハンテープ、接着剤(セメダインCなど透明で速乾性のもの)
- できあがった望遠鏡をかざるためのカラーペン、カラーテープ、シールなど
- 三脚はお貸しできるものを準備していますが、各自で三脚(カメラまたはビデオ用で可)持参されても結構です。



主催/問合せ 大分大学 社会連携推進課
TEL: 097-554-8533 / FAX: 097-554-7740 / E-mail: tiren@oita-u.ac.jp